

資料2

日田市 農業振興 ビジョン

令和7年度日田市農業振興ビジョン推進委員会 資料

目次

1. 農業振興ビジョンの施策体系と推進委員会の役割 …… p.2
2. 各施策の推進に関連する事業の取組内容等について…… p.3～18
3. 品目振興の令和6年度実績値について …… p.19～20

1. ビジョンの施策体系と推進委員会の役割

基本目標	基本方向 (目指すべき方向性)	基本施策	主要施策	ページ
日田市らしい足腰の強い農業と活気ある農村社会をつくる	『稼ぐ農業』を目指す	I 日田の強みをいかす	1 果樹・野菜・花卉・米等の安定生産と生産拡大	…P21
			2 地域の特性をいかした作物の推進	…P23
			3 産直野菜の生産拡大と出荷体制の整備	…P24
			4 足腰の強い畜産業の振興	…P25
			5 内水面資源の維持と活用	…P26
		II 創意工夫で販路拡大を目指す	1 生産部門との密接な連携によるマーケットインに向けた取組の推進	…P27
	2 百貨店、量販店、外食産業等のニーズに応じた販売企画、商品開発の推進	…P28		
	3 地域ブランドづくりとPR(各種フェアの開催等)	…P29		
	4 直売所を活用した地産地消・地産外消の推進	…P30		
	5 農商工観の連携・6次産業化への展開	…P31		
	6 農産物の輸出に向けた取組	…P32		
	『活躍する農業』を目指す	III 元気な担い手を育てる	1 担い手の明確化と農地の集約	…P33
			2 集落営農の育成・法人化	…P34
			3 新規就農者や農業後継者の確保・育成	…P35
			4 企業の農業参入等の推進	…P36
			5 包括的な農業支援体制の強化	…P36
	IV 使える農地を増やす	1 生産基盤として有効な農地確保や農業用水施設の整備・更新	…P37	
		2 優良農地の保全と有効活用	…P38	
		3 耕作放棄地の解消	…P39	
	『感動する農業』を目指す	V やさしい農業を目指す	1 安心・安全な環境保全型農業の推進	…P40
			2 地域循環を目指した環境にやさしい農業の実現	…P41
			3 土壌診断・分析の実施	…P42
	VI 魅力ある農村を築く	1 美しい田園景観づくりの推進	…P43	
		2 鳥獣害に強い集落づくりの推進	…P44	
3 グリーンツーリズムの推進		…P45		
4 健やかな食生活の実現に向けた食育の推進		…P46		
重点施策		① 担い手をサポートする体制の整備	…P47	
		② 日田の風土に合った循環型農業の実現	…P48	
		③ 時代のニーズに応える日田ブランドの確立	…P49	
		④ 稼ぐ農業のための生産基盤の見直し	…P50	

日田市農業振興ビジョン 推進委員会

進捗状況の検証・意見集約

■農業振興ビジョン推進委員会の役割

①主要施策の進捗管理・検証

各種施策の推進に関連する市の主要事業や取組を挙げ、各施策にどのように反映しているかの説明を行います。

②重点施策の進捗管理・検証

4つの重点施策について、実現に向けた現在の進捗状況の説明を行います。

③進捗状況や今後の取組に関する意見交換

これらの取組内容について、委員の皆様からご意見をいただき、進捗状況の検証と今後の取組の改善に繋がります。

2. 各施策の推進に関連する事業の取組内容等について

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

※6年度は決算額、7年度は予算額（単位：千円）
【重点施策】=ビジョンの重点施策事業 以降同様

【主要施策①】果樹・野菜・花卉・米等の安定生産と生産拡大（ビジョン p.21～22）

R6

・おおいた園芸産地づくり支援事業(R4～) 963千円

意欲ある園芸農業者の生産拡大、所得向上を目的に市が推進する品目に対して園芸産地づくり計画を策定し、必要となる栽培施設の整備に対して支援を行いました。

『園芸産地づくり計画』白ネギ・ピーマン・梨・ぶどう

【事業実績】果樹棚改修(1戸) 補助率:県1/6 市1/6



〈果樹棚の整備〉

・経営所得安定対策等推進事業(H26～) 8,707千円(推進事業費)

需要に応じた米生産、水田の有効活用を図るため、農業者に対して米の需要状況に関する情報及び水田を活用した高収益作物の作付、農業経営の安定につなげるための交付金を交付しました。

【事業実績】水田活用の直接支払交付金 305件 96,785千円

R7

・**新**おおいた園芸産地づくり支援事業(柳野地区梨棚整備) 35,986千円

平成29年7月九州北部豪雨災害で被災した小野柳野地区において、梨団地を造成中。早期成園化に向けた梨棚の新設整備を行い、復旧・復興と併せて日田梨の産地維持を図ります。

・おおいた園芸産地づくり支援事業 18,099千円

『園芸産地づくり計画』白ネギ・ピーマン・梨・ぶどう

スイカ(R7.10月策定)

【事業計画】果樹棚改修(2戸)、機械導入(5戸)、ハウス改修(1戸)、機械レンタル(1戸)、灌水導入(3戸)

・経営所得安定対策等推進事業 9,000千円(推進事業費)

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

[主要施策②] 地域の特性をいかした作物の推進 (ビジョン p.23)

[主要施策③] 産直野菜の生産拡大と出荷体制の整備 (ビジョン p.24)

R6

産直野菜増産ミニハウス等導入支援事業(H21~) 3,260千円

中山間地域の小規模農家を対象として、近年の異常気象による露地野菜の品質劣化の課題解決のため、産直野菜等の生産拡大を図り、通年出荷体制が確立するよう、ミニハウス等の導入に対して支援を行いました。

- 新設パイプハウスの整備に要する経費の導入に要する資材費(2/3以内)
- 遊休パイプハウスの補修に要する資材費(2/3以内)
- 管理機の導入に要する経費(1/2以内)
- 灌水施設の導入に要する資材費(1/2以内)

【事業実績】

地区	品目	棟数	面積(m ²)	事業費(千円)	補助額(千円)
光岡	西瓜 他	2棟	348	3,520	1,768
天瀬	キュウリ	1棟	210	1,716	819
三花	ワサビ	1棟	182	1,393	673
合計			740	6,629	3,260

前津江地域産地づくり支援事業(R5~) 2,375千円 ※R7年度より地域振興課へ事業移管

前津江産の堆肥や竹炭の生産基盤を構築し、加工品製造や配食サービスでの利用など、前津江産野菜の利用拡大の取組を支援し、前津江産野菜のブランド化と普及につなげました。

【事業実績】

- ・堆肥を使った野菜づくり普及(976千円)
- ・加工品商品開発(1,357千円)
- ・配食サービスの取組に対する支援(166千円)



〈前津江産野菜〉



〈配食サービス〉

R7

産直野菜増産ミニハウス等導入支援事業 7,818千円

【事業計画】 新設パイプハウス(6件)、灌水施設(3件)

〔新〕有機農業調査研究事業 434千円 *基本施策V-①にも関連

有機農業に関心を持つ市民の方々を対象に、有機農業を学ぶ講習会の開催や実際に有機栽培に取り組んでいる農業者との交流・意見交換などを通して、広く有機農業の推進につなげます。



〈有機農業研修会〉

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

【主要施策④】足腰の強い畜産業の振興（ビジョンp.25）

R6

・肉用牛生産基盤拡大支援事業(H27～) 1,260千円

『おおいた和牛』の安定供給に向けた生産基盤を強化のため、繁殖農家の優良な繁殖雌牛増頭における導入及び自家保留に対して支援を行いました。

【事業実績】 12頭(繁殖農家6戸) × 105千円/頭 = 1,260千円

・スマート畜産推進対策事業(R5～) 2,680千円

肉用牛農家の省力化と生産性向上の両立を図るため、繁殖成績向上や飼養環境改善に関する各種スマート機器の導入に対して支援を行いました。

【事業実績】 照明・換気扇・ミスト設置(1戸)、監視カメラ設置(2戸)、エコー導入(2戸)

・酪農支援対策施設整備事業(H27～) 1,175千円

酪農の経営基盤強化を図るため、省力化や暑熱対策など飼養環境の向上を目指した施設整備等の取組を支援しました。

【事業実績】 暑熱対策用換気扇(1戸)

・後継牛能力向上対策事業(酪農)(R5～) 1,706千円

遺伝情報を活用し、効率的に優秀な素質を持つ乳用雌牛や乳用後継牛の確保を図るため、酪農家を実施する遺伝子検査及び雌性判別受精卵購入費の支援を行いました。

【事業実績】 遺伝子検査(5戸)、雌性判別受精卵購入(3戸)

R7

・肉用牛生産基盤拡大支援事業 7,263千円

・酪農支援対策施設整備事業 6,418千円

・後継牛能力向上対策事業(酪農) 12,555千円

・**新**自給飼料生産草地整備事業 1,304千円

飼料価格高騰対策として、自給飼料の生産拡大を図るため、利用率の低い牧野や遊休農地等といった飼料基盤の再整備及び獣害柵の設置を支援します。



〈肉用牛品評会〉



〈WCS〉

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

【主要施策⑤】内水面資源の維持と活用（ビジョンp.26）

R6

・内水面資源維持事業(H22～) 3,528千円

市内河川におけるアユ・ヤマメ等の主要水産資源の維持・増殖を図るため、各漁業協同組合が行う稚魚放流に要する経費を助成しました。

【事業実績】アユ・ヤマメ等の水産資源放流、オイカワ等の産卵場造成

- ・日田漁業協同組合 … 2,920千円
- ・津江漁業協同組合 … 608千円



〈アユ稚魚の放流〉

・内水面利活用推進事業(H22～) 12千円(職員旅費のみ)

本市の水産業を担う内水面漁協並びに養殖業者等の各種取組に関する調査研究及び飲食業関係者と養殖業生産者のマッチング、観光客への積極的なPRを行い、川魚の消費拡大を図りました。

【事業実績】日田市内水面利活用推進協議会(平成22年9月より発足)

- 市内河川におけるアユの生育状況調査(県・学識者共同実施)
- 市外飲食店へのアユのサンプル提供
- 筑後川のめぐみフェスティバルへの出店(アユの塩焼きPR販売)
- 市内小中学校での水産授業の開催・学校給食への提供
- PR用品(ポスター、のぼり、フライヤー)の作成
- 養殖産業の先進地視察(山口県下関市)
- 川魚料理のレシピ開発



〈学校給食への提供〉



〈水産授業の開催〉

R7

・内水面資源維持事業 4,120千円

・内水面利活用推進事業 516千円



〈アユの塩焼きPR販売〉



〈生育状況調査〉

【基本施策Ⅱ】 創意工夫で販路拡大を目指す

[主要施策①] 生産部門との密接な連携によるマーケットインに向けた取組の推進 (ビジョンp.27)

[主要施策②] 百貨店、量販店、外食産業等のニーズに応じた販売企画、商品開発の推進

[主要施策③] 地域ブランドづくりとPR (ビジョンp.29)

(ビジョンp.28)

[主要施策④] 直売所を活用した地産地消・地産外消の推進 (ビジョンp.30)

R6

・地場産品ブランド事業 2,643千円 【重点施策3】 *商工労政課

・魅力発信事業 6,027千円 【重点施策3】 *観光課

・農産物販路開拓事業(R3~) 796千円 【重点施策3】

「西瓜」、「梨」、「ぶどう」を主力に、高級ギフトの開発、旬入りフェアやメディアプロモーションを展開し、日田産農産物の販路開拓を行いました。

【福岡都市圏】 西瓜・梨・ぶどう高級フルーツギフト商品の開発、高級フルーツ店舗販促、スイーツフェア等

【大分県内】 西瓜・梨・ぶどう旬入りフェア(メディア・イベントPR・店舗販促)



〈スイーツフェア〉



〈市場キャンペーン(トップセールス)〉



〈旬入りフェア〉



〈YES, BECKEN〉



〈高級フルーツギフト〉

R7

・農産物販路開拓事業 6,125千円 【重点施策3】

【福岡都市圏】 西瓜・梨・ぶどう 高級フルーツギフト商品の開発・店舗販促、スイーツフェア等

【関西都市圏】 大阪「無印良品」での日田産農産物・加工品の販促

【首都圏】 伊勢丹新宿店、クイーンズ伊勢丹での日田フェア開催

【大分県内】 西瓜・梨・ぶどう旬入りフェア(メディア・イベントPR・店舗販促)

【基本施策Ⅱ】 創意工夫で販路拡大を目指す

【主要施策⑤】 農商工観の連携・6次産業化への展開（ビジョンp.31）

~R6

・企業と連携した商品開発【重点施策3】

有名企業や生産部会、県農協等と連携した日田梨を使用した商品の開発並びに販売促進を行いました。

- R3年9月 カゴメ株式会社「野菜生活100日田梨ミックス」*R4 一時休止
- R4年6月 アサヒ飲料株式会社「三ツ矢にほんくだもの大分県産日田の梨」*R4 販売開始
- R5年8月 カゴメ株式会社「野菜生活100大分日田梨ミックス」*R5 再販売
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社「おおいた日田の梨ソーダ」*R1 販売開始、R4 再販売
- R6年8月 ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社「大分県搾り日田の梨ソーダ」



〈日田の梨ソーダ〉

【主要施策⑥】 農産物の輸出に向けた取組（ビジョンp.32）

R6

・日田梨輸出促進事業(H21~) 1,300千円【重点施策3】

日田梨の海外輸出の拡大を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会を中心に海外における販促活動や商談会等を行うことで、日田梨ブランドの確立に取り組みました。

- 輸出国 / 台湾、香港、ベトナム、タイ、シンガポール 他

【事業実績】 ブランドおおいた輸出促進協議会農産部会負担金 300千円
日田市農産物輸出促進事業補助金 1,000千円
(販売促進活動、輸出荷造経費 等)

目標指標
の検証

指標名		R4	R5	R6	評価
梨輸出量(t)	目標値	127.0	129.0	132.0	△
	実績値	126.5	130.3	129.5	

※各指標の評価欄は、目標に対する実績の達成度が100%以上で「○」、50~99%で「△」、50%未満で「×」とした(以降同様)



〈台湾での販促活動〉

R7

・日田梨輸出促進事業 1,300千円【重点施策3】

【基本施策Ⅲ】元氣な担い手を育てる

[主要施策①] 担い手の明確化と農地の集約 (ビジョンp.33)

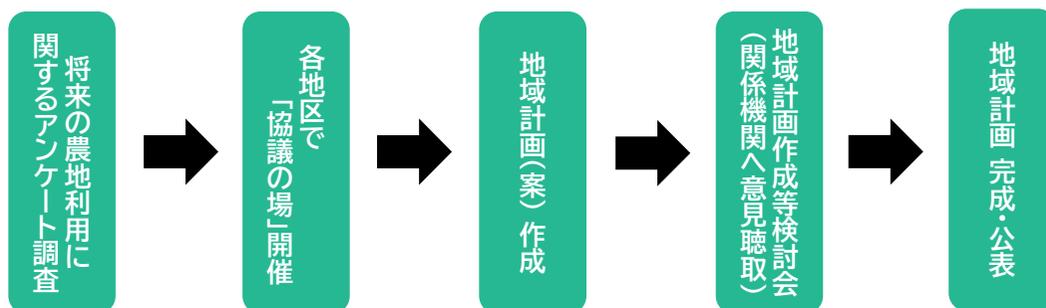
~R6 ・地域計画の策定

農業経営基盤強化法の改正により、これまでの「人・農地プラン」に加え、10年後の目指すべき将来の農地利用の姿を描いた目標地図の作成が求められ、農地の集約化に向けた取組を加速化を図るための新たな計画を策定しました。

R5年度策定 中津江、上津江、大鶴、大山、西有田、天瀬(6地区)

R6年度策定 三芳、朝日、前津江、小野、三花、東有田、高瀬、日田・五和、夜明、光岡(10地区)

○地域計画策定までの流れ



〈地域計画の策定に向けた話し合い〉

・農地中間管理事業 *基本施策VI-③にも関連 ※R7より農業委員会事務局へ事務移管

耕作する農地を農地中間管理機構(農地バンク)が受け皿となって借り受け、担い手へ貸し付ける事業。担い手への農地集積・集約化を推進し、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進めています。

目標指標の検証

指標名		R4	R5	R6	評価
担い手への農地集積面積(ha)	目標値	2,127	2,144	2,160	
	実績値	1,969	1,840	1,468	

R7 ・地域計画のブラッシュアップ

・農地中間管理事業 *基本施策VI-①にも関連 *農業委員会事務局 所管



〈各地区で協議の場を開催〉

【基本施策Ⅲ】元氣な担い手を育てる

【主要施策②】集落営農の育成・法人化（ビジョンP.34）

R6 • 集落営農組織等農地保全活動支援事業(H23～) 8,319千円 【重点施策1】

効率的な農作業受託と経営安定を図るため、集落営農組織や地域の農地保全を担う経営体が行う農業機械の導入を支援しました。

【事業実績】

- 集落営農組織等農業機械整備支援(補助率:1/2以内、上限:3,000千円)
田植機 3台(3組織)、ラップマシーン 1台(1組織)
- 担い手農地保全支援(補助率:1/3以内、上限:2,000千円)
乗用管理機 1台、トラクター 1台(1組織)、田植機 1台、籾摺機 1台(1名)



〈集落営農組織による水稲栽培〉

●(新) 中山間地営農経営体強化対策事業(R6～) 4,442千円 【重点施策1】

持続可能な中山間地農業を確立するため、集落営農組織等における園芸品目の導入に伴う人材確保や施設整備に対して支援を行いました。

- 【事業実績】
- ・常時雇用への給与補助(1組織)
 - ・白ネギ根葉切り機導入(1組織)
 - ・きゅうりハウス新設(1組織)
 - ・大型特殊免許の取得補助(3組織)

指標名		R4	R5	R6	評価
目標指標 の検証	集落営農組織法人数 (法人)	目標値 12	12	12	△
		実績値 9	10	10	

R7 • 集落営農組織等農地保全活動支援事業 9,600千円 【重点施策1】

【事業計画】 籾摺機 1台(1組織)、コンバイン 2台(2組織)、収穫機 1台(1名)

● 中山間地営農経営体強化対策事業 4,317千円 【重点施策1】

【事業計画】 中核人材確保支援(1組織)、高収益作物等導入支援(1組織)、オペレーター人材確保支援(3組織)

【基本施策Ⅲ】元氣な担い手を育てる

[主要施策③] 新規就農者や農業後継者の確保・育成 (ビジョン p.35)

R6

新規就農者総合支援事業(H24~) 20,337千円 【重点施策1】

就農初期段階の青年農業者に対して支援を行い、早期の経営安定化と定着を図りました。

【事業実績】 ●経営開始資金(150万円/年、最長3年間)

継続対象者 4組(6名) 5,850千円、新規採択者 4組(4名) 6,000千円

●経営発展支援事業 認定新規就農者 3名 8,487千円

ファーマーズスクール研修事業(H28~) 825千円 【重点施策1】

市が推進する品目の栽培・経営技術を研修するファーマーズスクールの設置により、新規就農者の確保・育成を図りました。

【事業実績】 梨研修生 2組(3名)、チンゲンサイ研修生 1名

農業後継者育成支援事業(H28~) 9,200千円

親元で就農する農業後継者に対する給付金を給付するほか、青年農業者が実施する研究会等の活動に対して補助を行うことで、農業後継者の育成を図りました。

【事業実績】 ●親元就農給付金事業 9,000千円(継続6名、新規3名)

●農業青年グループ活動支援事業 200千円(2組織)

目標指標
の検証

指標名		R4	R5	R6	評価
新規就農者数 (人)	目標値	31	31	31	△
	実績値	37	33	28	



<就農・就業応援フェア>



<日田チンゲンサイFS入校式>

R7

新規就農者総合支援事業 33,825千円 【重点施策1】

ファーマーズスクール研修事業 1,580千円 【重点施策1】

農業後継者育成支援事業 9,700千円

【基本施策Ⅲ】元氣な担い手を育てる

[主要施策④] 企業の農業参入等の推進 (ビジョン p.36)

~R6

・ 企業参入の取組

大分県と連携しながら、企業による農業参入の取組を進めています。
天瀬町杉河内地区で基盤整備された農地の一部区画に市外の2法人が参入し、県・市・企業・地元農事組合法人で連携協定を締結しました。

- 【参入実績】 ●H31年度 有限会社M(熊本県) 畜産
●R2年度 株式会社C(福岡県) 野菜
●R3年度 株式会社K(日田市内) 野菜
●R4年度 N株式会社(日田市内) 野菜
H株式会社(日田市内) 野菜
株式会社S(日田市内) 水稲・野菜
●R6年度 K株式会社(玖珠町) 野菜
NE株式会社(福岡県) ハーブ類



<天瀬町杉河内地区の基盤整備>

[主要施策⑤] 包括的な農業支援体制の強化 (ビジョン p.36)

~R6

・ 農福連携整備事業(R5~) 957千円(R5)

障がい者等の求職等への対応が必要となっている一方、農業分野では慢性的な人手不足とともに、高齢化も進んでいるため労働力の確保が喫緊の課題となっています。そこで、農業が雇用の受け皿となるため、障がい者等の多様な人材が働きやすい就業環境を整備し、農福連携の推進を図っています。

- 【事業実績】 R5年度 トイレの設置(1戸)、休憩所の改修(1戸)
R6年度 ※事業取下げにより実績なし

R7

・ 農福連携整備事業 1,500千円

- 【事業計画】 トイレの設置 等 (2戸)



<トイレの設置・休憩室の改修>

【基本施策Ⅳ】使える農地を増やす

[主要施策①] 生産基盤として有効な農地確保や農業用水施設の整備・更新 (ビジョン p.37~38)

R6

・農業体質強化基盤整備促進事業(尾当地区) 33,394千円 【重点施策4】

梨団地に農業用水を供給している深井戸水中ポンプの故障により、用水を供給できない状態であったため、水源ボーリングを行って用水を確保し、安定した用水供給を図りました。

【事業内容】 さく井工事、揚水施設設置工事、道路舗装工事

・農地耕作条件改善事業(柳野地区) 55,400千円 【重点施策4】

平成29年7月九州北部豪雨の農地復旧と同時に区画整理を実施し、水田畑地化により日田市の主要作物である梨の作付を行うため、基盤整備を行いました。

【事業規模】 A=2.1ha 【事業内容】区画整理、水源ボーリング、用水施設

・県営農業水利施設保全合理化事業 63,211千円 【重点施策4】

経年劣化により破損・漏水等が生じている農業水利施設の長寿命化、機能の持続化を目的とした整備を行い、安定した農業経営及び地域農業の振興を図りました。

【事業内容】 水路工事 4地区(199.1ha) 設計業務 2地区(546ha)



<柳野地区の基盤整備>

目標指標
の検証

指標名		R4	R5	R6	評価
水田整備済面積 (ha)	目標値	883	895	907	△
	実績値	883	883	895	
農道整備延長 (km)	目標値	187	190	193	△
	実績値	184	185	185	

R7

・農業体質強化基盤整備促進事業(山田地区) 36,050千円 【重点施策4】

・農地耕作条件改善事業(柳野地区) 45,450千円 【重点施策4】

・県営農業水利施設保全合理化事業 47,550千円 【重点施策4】

【基本施策Ⅳ】使える農地を増やす

【主要施策②】優良農地の保全と有効活用（ビジョン p.38）

R6

・中山間地域等直接支払事業(H12～) 109,669千円 *基本施策VI-①にも関連

農業生産条件が不利な中山間地域において、耕作放棄地の発生防止や農地を保全するため、5年間の農地保全協定を締結した集落の活動に対して交付金を交付しました。

【事業期間】 R2～R6(第5期) 【集落協定数】 108協定 【対象面積】 815.64ha

- ①体制整備単価(10割) 64集落(田:419.68ha 畑:75.72ha 採草放牧地:10.85ha)
- ②基礎単価(8割) 44集落(田:223.37ha 畑:63.18ha 草地:23.25ha)
- ③特例加算(生産性向上加算、棚田地域振興活動加算、超急傾斜農地保全管理加算)

・多面的機能支払交付金事業(H26～) 26,367千円

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行うことで、地域資源の適切な保全管理の推進を図りました。

【取組組織】 29組織 【対象面積】 817.51ha

- ①農地維持支払交付金 29組織(田:481.26ha 畑:330.20ha 草地 6.05ha)
- ②資源向上支払交付金 16組織(田:249.00ha 畑:114.31ha 草地:5.48ha)
- ③加算項目(田んぼダム)



<住民と農業者による水路清掃>

目標指標
の検証

指標名		R4	R5	R6	評価
多面的機能支払 交付面積(ha)	目標値	875	880	885	△
	実績値	860	850	817	

R7

・中山間地域等直接支払事業 110,371千円 *基本施策VI-①にも関連

【事業期間】 R7～R11(第6期) 【集落協定数】 92協定 【対象面積】 684.80ha ※見込

・多面的機能支払交付金事業 28,103千円 *基本施策VI-①にも関連

【取組組織】 30組織 【対象面積】 819.00ha ※見込

【基本施策Ⅳ】使える農地を増やす

【主要施策③】耕作放棄地の解消（ビジョン p.39）

R6 ・農地パトロールの実施 * 農業委員会事務局

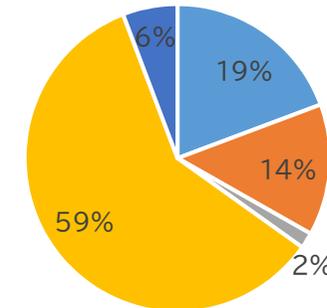
農業委員会では、毎年8月～10月にかけて、市内の全ての農地を対象に耕作放棄地の早期発見や解消等を目的とした「農地パトロール」を実施しています。

「農地パトロール」により把握した耕作放棄地については、所有者に対して利用意向調査を行い、今後の意向を確認した上で、農地中間管理機構への貸し付けや農業委員会によるあっせん等による農地利用を進めています。

●遊休農地調査結果

年度	耕作放棄地 (単位:ha)					
	耕作放棄地		うち遊休農地 (再生利用が可能なもの)		再生困難農地	
	全体	農用地区域	全体	農用地区域	全体	農用地区域
R4	364.4	151.2	66.5	35.7	297.9	115.5
R5	379.8	160.9	76.9	43.5	302.9	117.4
R6	447.8	184.1	112.2	52.1	335.6	132.0

●遊休農地所有者への意向調査結果



- 農地中間管理機構への貸付
- 農業委員会のあっせん
- 所有権移転等
- 自作
- その他

・農業委員会等によるあっせん * 農業委員会事務局

【農業委員によるあっせん面積】 R4:11.8ha R5:14.0ha R6:16.8ha

・その他の取組 * 農業委員会事務局

●農家への戸別訪問

毎月5戸以上を目標に、農地の管理や所有者情報の聞き取りを行い、地域の適切な農地利用を進めています。

●「農業委員会だより」や「市ホームページ」での情報発信

適切な農地の保全管理や農地の売買、貸付等の相談先等の情報発信を行っています。

●農業委員による「農地相談会」の開催

農地に関する困りごとを農業委員へ気軽に相談できる機会を設けています。

【基本施策Ⅴ】 やさしい農業を目指す

[主要施策①] 安心・安全な環境保全型農業の推進 (ビジョン p.40)

[主要施策②] 地域循環を目指した環境にやさしい農業の実現 (ビジョン p.41)

[主要施策③] 土壌診断・分析の実施 (ビジョン p.42)

R6

・環境保全型農業直接支払事業(H28～) 1,157千円 *基本施策Ⅵ-①にも関連

化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動の支援を行いました。

【事業実績】 緑肥(レンゲ)作付 17.45ha(1組織)

・地域資源利活用推進事業(H26～) 1,684千円 【重点施策2】

耕畜連携による自然循環型農業推進のため、集落営農組織等が市内の畜産農家から堆肥を購入する経費の支援や、集落営農組織の堆肥散布機械の導入に要する経費の支援を行いました。

【事業実績】 ①堆肥購入補助 購入数量:1,684t 散布面積:80.5ha
(市内農業者 25戸、集落営農組織等 11組織)
②機械導入補助 堆肥散布機械:4台
(市内農業者 2戸、集落営農組織等 2組織)



<畜産堆肥の散布>

R7

・環境保全型農業直接支払事業 1,587千円 *基本施策Ⅵ-①にも関連

【事業計画】 ①緑肥(レンゲ)作付 22.82ha
②有機農業 3ha

・地域資源利活用推進事業 3,000千円 【重点施策2】

【事業計画】 ①堆肥購入補助(対象数量:2,000t 散布面積:100ha)
②機械導入補助(堆肥散布機械 1台)

【基本施策Ⅵ】魅力ある農村を築く

【主要施策①】美しい田園景観づくりの推進（ビジョン p.43）

R6

・「つなぐ棚田遺産」

大分県農業・農村多面的機能シンポジウムにおいて、令和4年度優良活動組織表彰

●月出町地域資源保全組合



【主要施策②】鳥獣害に強い集落づくりの推進（ビジョン p.44）

R6

・カワウ被害防止対策事業(H22～) 100千円 *基本施策Ⅰ-⑤にも関連

食害被害防止のため、漁協の実施するカワウの捕獲活動等の経費の一部を補助し、アユ等主要水産資源の漁獲量向上及び遊漁者の増加を図りました。

【事業実績】 日田漁協…カワウ被害防止に向けた駆除・防除事業を支援。カワウ駆除数:403羽

・有害鳥獣捕獲事業(H22～) 55,235千円 *林業振興課

有害鳥獣捕獲班員の捕獲に要する経費の一部等を負担することで捕獲活動意欲の向上による捕獲数の増加、農林作物被害の減少に繋がりました。

【事業実績】 捕獲実績:イノシシ 2,758頭、シカ 2,481頭、アナグマ 876頭、アライグマ 660頭 ほか

・鳥獣被害防止総合支援事業(H21～) 2,213千円 *林業振興課

有害鳥獣被害軽減のため、集落で防護柵を設置すること等に対して支援を行いました。

【事業実績】 設置地区:4地区 設置延長:4,989m



<カワウ対策のテグス張り>

R7

・カワウ被害防止対策事業 100千円 *基本施策Ⅰ-⑤にも関連

・有害鳥獣捕獲事業 49,069千円 *林業振興課

・鳥獣被害防止総合支援事業 15,459千円 *林業振興課

【基本施策Ⅵ】魅力ある農村を築く

〔主要施策③〕グリーンツーリズムの推進（ビジョン p.45）

R6 ・農家民泊の取組

「hitaぐるりぐっと協議会」が中心となって、農家民宿の魅力を発信し、受け入れ体制の強化を図りました。
●農家民宿開業者数:21軒(大山地区:11軒、津江地区:6軒、その他:4軒)

〔主要施策④〕健やかな食生活の実現に向けた食育の推進（ビジョン p.46）

R6 ・ひたアグリスクール運営事業(R1年～) 583千円

農業に触れる機会の少ない高校生に対して、農業に関心と興味を創出するため若手生産者から現地で学ぶ研修を行い、売れる商品づくりに向けて地元企業やデザイナーから指導をいただくことで生産から製造、販売の過程を学ぶ場を提供し、商品開発に対するスキル向上や6次産業への理解を深めました。

・学校給食等への川魚の食材提供(H30～)

市内の養殖業者が生産する鮎・ヤマメを、学校給食や講習会の食材として提供し、川魚食文化を継承と興味の醸成に繋げました。

- 給食提供:天瀬・大山・津江地域の小中学校
- 講習会:昭和学園高校調理科

・地産地消の取組

- 「憩いの杜 やませみ」による農業体験(前津江小学校)
- 地元の食材を学校給食に活用(ゴボウ、なす、きゅうり、小松菜、ほうれん草 他)
- 農業青年組織による農業体験(市内幼稚園、大山小学校)

R7 ・学校給食等への川魚の食材提供

・地産地消の取組



<ひたアグリスクール>



<川魚講習会>



<農業青年組織による農業体験>

3. 品目振興のR6実績値について

指標銘		単位	R5実績値	R6目標値	R6実績値	評価	備考 (増減の理由等)
梨	生産量	t	2,757	2,700	2,198	△	・降水不足と日中及び夜間の高温により、全体的に小玉傾向となり、熟期前進による過熟もあり、生産量は大きく減少している。
ぶどう	生産量	t	172	169	173	○	・高温化であったが、シャインマスカットを中心に出荷量が増加しており、R6目標値を達成した。
スイカ	生産量	t	1,384	1,720	1,308	△	・高温と豪雨の影響により、出荷量が減少している。出荷量の減少から販売価が高騰し、販売額増加につながった。
白菜	生産量	t	2,595	3,200	1,934	△	・高温の影響により小玉傾向となり、出荷量が減少している。今後は、高温対策資材の導入試験を実施していく。
梅	販売額	千円	70,453	100,000	35,065	×	・暖冬により不完全花が形成され、結実まで至らなかったことや開花期の長雨と幼果期の霜害が影響し、生産量が減少している。 ・養蜂事業や新改植事業、各管理講習会等を実施して収量の増加を目指していく。
	(生産量)	t	181	—	46	—	
すもも	販売額	千円	52,211	100,000	35,865	×	・暖冬により不完全花が形成され、開花時の長雨により十分な人工交配が行なえなかったことやふくろみ病の多発、スモミハバチやヒヨドリによる被害も多発したことで、生産量が減少している。
	(生産量)	t	70	—	36	—	
白ネギ	生産量	t	43	78	60	△	・高齢化による作付面積の減少や近年の高温による夏場の病害発生が著しく、目標値に達していない。
ピーマン	生産量	t	22	98	19	×	・生産量は高温の影響により、目標値を下回ったが、全国的な供給量不足から販売価格は高騰し、販売額の増加に繋がっている。
にんにく	生産量	t	1	11	1	×	・高齢化による栽培面積減少、暖冬、連作等によるスポンジ球、病気の発生、収穫期の天候の影響し、生産量が伸びていない。

指標銘		単位	R5実績	R6目標値	R6実績値	評価	備考 (増減の理由等)	
えのき茸	販売額	千円	758,651	800,000	781,238	△	・不良原木の発生と出荷者数の減少により、生産量は減少したが、単価は昨年と比べ高値で推移した。	
	(生産量)	t	2,702	—	2,474	—		
生椎茸 (原木・菌床)	生産量	t	15	26	12.1	×	・夏場の高温の影響により、菌床椎茸の生産量が落ち込んでいる。	
乾燥椎茸 (原木)	生産量	t	80.3	100	71.9	△	・猛暑等の気候的要因に伴う発生量の減少や生産者の減少によるもの。	
クレソン ハーブ	販売額	千円	63,734	100,000	56,091	△	・夏期の高温の影響により生育が悪く、出荷量に大きく影響した。また、高齢化と環境の変化により生産量が低下している。 ・単価については、昨年と比べクレソンは高値で推移し、ハーブ類は前年度とほぼ変わりなかった。	
	(生産量)	t	20	—	16	—		
わさび	生産量	t	21	35	25	△	・苗不足による一部生産者の栽培休止や生産者の高齢化等により栽培規模が縮小している。	
山椒	生産量	t	6	6	5	△	・生産者の高齢化による栽培規模の減少や古木の枯死により、生産量が増加していない。	
米	栽培面積	ha	975	976	960	○	・大分県から通知される生産目安が減少したことにより、栽培面積は減少傾向であるものの、直近の米需要等により生産量は増加している。	
	生産量	t	4,728	4,782	4,819	△		
産直野菜	日田	販売額	千円	328,609	324,000	334,705	○	・市場単価が上がったことや新規出荷者等による出荷量の増加により、R6目標値を達成した。
	大山	販売額	千円	968,059	1,135,000	975,576	△	
肉用牛	出荷量	頭	1,448	1,360	1,472	○	・酪農との複合経営の増加により出荷頭数が増加しており、R6目標値を達成した。	
乳用牛	生乳 生産量	t	38,506	40,500	37,215	△	・飼養頭数の減少や猛暑の影響等により、1頭あたりの生乳量が減少している。	

※各指標の評価欄は、目標に対する実績の達成度が100%以上で「○」、50～99%で「△」、50%未満で「×」とした。